

とよきた

やる気 がんばり 思いやり
学校だより R5.6.12
宇都宮市立豊郷北小学校 市川 文人



ホームページ QRコード
が-版でご覧になれます

青空の下 豊北小「運動会」を開催！



5月27日(土)、青空の下、豊北小運動会が盛大に開催されました。当日まで、6年生は、小学校生活最後の運動会を最高の舞台にしようと、素晴らしいリーダーシップを発揮しながら、見事にチームをまとめ上げてきました。また、下級生も、6年生の熱い思いにしっかりと呼吸を合わせ、「目指せ 豊北 NO.1 今 この瞬間を 全力で」(白井彩妃穂さん:作)のスローガン通り、今、この瞬間を大切に、全集中・全力で練習を重ねてきました。そして、迎えた本番！子供たちは、今までの練習で培った「力」を信じ、「走る瞬間」「跳ぶ瞬間」、そして、「踊り舞う瞬間」に、すべてを出し切り、熱戦を展開しました。結果は、紅組が圧倒的なパワーを生かし、見事2年ぶりに優勝を果たしました。敗れはしたものの、応援合戦で見せた白組の気迫と団結も立派でした。勝っても負けても精一杯戦い抜いた子供たちの表情は清々しく、その姿に感動しました。地域の皆様や4年ぶりにお招きした来賓の皆様からは、盛んな応援をいただきました。また、PTA 会長様を始め保護者の皆様、「北のおやじの会」の皆様のご協力も、大きな支えとなりました。誠に、ありがとうございました。コロナ禍を乗り越え大成功を収めた運動会を明日への希望に変え、新たな挑戦を開始してまいります！



履物を揃える

廊下を歩いていると、4年生の男の子たちが、乱れていたトイレ用のサンダルを並べ直していました。「ありがとう、いつも直してくれているの。」と、尋ねると、「気が付いた時には直しています。」と、爽やかに答えてくれました。

その姿に清々しさを感じると共に、右に示した詩「履物を揃える」を思い起こしました。

この詩は、長野県円福寺、藤本幸邦さんが書いたもので、心に沁みる素敵な詩です。

私自身、履物を揃える時には、自分の心を整えると共に次に使う人にも思いを寄せています。

大人も子供も、学校や家庭、地域で実践し、「揃った心」で、日々の生活を充実させていきたいと思います。

はきものをそろえる
はきものをそろえると 心もそろう
心がそろうと はきものもそろう
めぐとときに そろえておくと 心がみだれない
だれかが みだしておいたら
だまってそろえておいてあげよう
そうすればきっと
せかいじゅうの人の心も そろうでしょう



恒例の「全校 田植え！」

5月25日(木)、晴天の下、全校児童で「田植え」を実施しました。

田植えは、子供たちが楽しみにしている本校の恒例行事で、今年は、前半2・4・5年生、後半1・3・6年生の「なかよし班」で行いました。



初めに、稲作ボランティアの齋藤芳彦様から「水田にすむ生き物」の話をしていただきました。写真を提示しながら分かり易く説明していただき、子供たちは、「ゲンゴロウ」や「タイコウチ」などの生き物の特徴を、楽しく理解することができました。

続いて、田植えの体験です。植える苗は、5年生が4月26日に「粃まき」をした時の種が育ったものです。

田に足を踏み入れる時には、「気持ちいい」「楽しい」「足が抜けない」などの声が聞かれ、土の感触を確かめながら、皆、ニコニコ顔でした。

また、1年生は、田植えデビューです。お兄さん・お姉さんに手を引かれたり、「ゆっくりね」「慌てないでね」と声を掛けられたりしながら、慎重に一步一步足を運んでいました。

田植えが始まると、皆真剣です。腰を落とし、印に狙いを定めて、一株ずつ丁寧に苗を植えていました。稲作ボランティアの方々からも、「まっすぐ植えられたね。」「じょうず、じょうず。」など、お褒めの言葉をいただきながら、無事、作業を終え、子供たちは、とても満足そうでした。



このような貴重な体験は、地元の角山伸一様のご厚意で田を提供していただくと共に、相馬幸夫様に管理していただくなど、地元の方々の多大なお力添えにより成り立っています。心より感謝申し上げます。

植えた苗が美味しい「もち米」に育っていくことを楽しみにしながら、日々、成長を見守ってまいります。

第1回 地域協議会

5月18日(木)、「第1回 地域協議会」を開催し、堀川里恵会長を始め26名の委員の方々にご参集いただき、今年度の学校経営について、種々協議いたしました。

特に、話題に上ったのは「あいさつ」についてです。学校内では、さわやかなあいさつが子供たちの間で習慣化されてきていることや、登下校では、班長が手本を示している班は下級生も良くあいさつができていたことが紹介されました。

また、豊北小出身で世界を舞台に活躍してきた先輩を「ようこそセンパイ！」と題して招聘し、「子供たちの夢を広げる」企画が進んでいるとの報告がありました。

一年間、学校・保護者・地域が一体となって、子供たちを育ててまいります。



おはなし会

「おはなし宅急便」の皆様による「おはなし会」が好評です。

「おはなし宅急便」のメンバーは、古川広美様を中心に、保護者、保護者OB、地域ボランティアの方々で構成され、「子供たちに本を届ける」ことを念頭に、読み聞かせや素話、手遊びをしてくださっています。

今年度も既に2回実施され、発達段階に合った楽しい読み聞かせや素話に、子供たちは興味津々で聞き入っていました。また、喜怒哀楽の表情を浮かべながら、すっかり「お話の世界」に入り込んでいる児童も見られました。

「おはなし会」は、年間14回を予定しています。

楽しさや発見、感動が、子供たちの心を耕し豊かにしてくれています。



健康体力チェック

6月8日(木)に「健康体力チェック」(体力テスト)を行いました。

ペア学年を組み、5・6年生が下級生の面倒を見ながら、テストを進めていきました。子供たちは、50m走やソフトボール投げ、立ち幅跳びなどの種目に、全力で挑戦しました。

「よっしゃー！」50m走で新記録を出した児童。「オーッ、すごい！」遠くまでソフトボールを投げるお兄さんに上がる歓声。

コロナ禍が収束に向かい、日頃から外遊びをする児童が増えました。その結果、体力テストを実施しながら、手応えを感じている児童もいるようです。

今後も外遊びを奨励し、教科体育はもちろん、外遊びを通じた体力の向上を図ってまいります。

